

事業所名

よこはまりバーサイド泉わかば

支援プログラム

作成日

R7

年

1月

21日

法人（事業所）理念		法人：・人々に共感と信頼の得られる社会福祉事業を行うことにより人々の安心した暮らしの実現を支援します。 ・地域の関係機関と連携しながら、地域における福祉の環境づくりに貢献します。 ・堅実かつ効率的な経営に務め、サービスの質の向上と安定的な提供を確保します。 事業所：「みんなでワクワクする体験・キラキラの瞳がもっと輝く」このキャッチフレーズを目指した支援に取り組みます。		
支援方針		学齢期の重症心身障害児に対して放課後等に安全・安心に活動できる場を提供することで、社会性を育むと同時に自立に向けた生活能力の向上を支援します		
営業時間		9:30～17:30	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	・看護師による体調確認及び活動中の健康チェックを行います。 ・排泄介助、水分補給、食事介助等障害特性や発達の過程に合わせた支援対応を行います。 ・到着時、帰りの身支度をする、活動時の手伝いをする等障害の特性に合わせた支援を行います。また適切な医療的ケアが受けられるように、個人に合わせた医療機器の準備、環境整備を行います。 ・他児童との関わりを持つ中で、意思の表出を受け止め、障害特性に合わせた支援を行っていきます。		
	運動・感覚	・日常生活の基本となる姿勢保持、運動動作についてリハビリを通した支援や、障害の特性、特徴に合わせ、立位保持装置等を活用して支援します。 ・歩行、車椅子による移動を散歩等の活動の中で支援いたします。 ・創作活動、音楽活動、リラックス活動等の中から、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚を活動の中で体感してもらえるように支援します。 ・障害特性に合わせ、めがねや補聴器の利用、ICTを使用して活動参加をしやすいように支援します。 ・大きな声や音に対して過敏な方等その方に合った環境を整えていきます。		
	認知・行動	・創作活動や音楽活動において、障害特性に合わせてイメージを事前に伝えることで活動への理解を深められるよう支援します。 ・障害の特性に合わせて、言語、イラストや写真を用いて、活動場所や移動場所の確認を行っていきます。また、生活環境を可視化、構造化することで過ごしやすい環境を整えます。		
	言語 コミュニケーション	・活動を通じて、表出された仕草や表情を用いて基礎的なコミュニケーションが身につくよう支援します。 ・言語のみではなく、意思表示カード等を利用してコミュニケーションが取りやすい環境を作ります。 ・読み聞かせ等の活動を通して、自発的な発語を促すよう支援します。 ・日直の役割を持ち、他児童の名前を呼び、返事をしてもらう等障害の特性に合わせて、他者ともコミュニケーションを図る事ができるような環境を整えます。 ・ジェスチャーやマカトンサイン等、障害特性に合わせたコミュニケーション方法や、自分が困った時やお願いしたい時にカード等を活用できる環境作りを行っていきます。		
	人間関係 社会性	・職員との信頼関係を築き、安心して過ごせる環境を作ります。 ・気持ちの変化を受け入れ、落ち着いて活動が楽しめるよう支援します。 ・始まりの会、終わりの会の役割を通じて、適切な行動ができるよう支援します。 ・テーブルゲーム等の活動を通じて、ルールを守る等の社会性の発達、対人関係の構築を支援します。 ・集団活動を通じた経験から、状況に応じた行動ができるように、また話し合いを通じて活動内容を決める、みんなで協力して作業に取り組む、自分の意見が提示できるような障害の特性に合わせた支援を行っていきます。		
家族支援		・年1回懇談会を開いております。 ・年に2回保護者面談を行い、相談等を行っています。	移行支援	・卒業後の利用場所の体験やイメージ作りの一環として同施設内の成人デ イサービスとの交流を行っています。
地域支援・地域連携		・他法人の放課後等デイサービスと交流会を開いています。 ・自立支援協議会の子ども部会に参加しています。	職員の質の向上	・法人内外の研修会及びオンラインでの研修に参加しています。
主な行事等		季節の行事、施設イベントへの参加、作品展		